

千代田区 中小企業の景況【概要版】

～令和5年10月～12月期～

【発行】千代田区地域振興部商工観光課
 【調査機関】一般社団法人 東京都信用金庫協会
 【分析委託業者】株式会社 東京商工リサーチ

[回答事業所数の業種別内訳]

	有効回答事業所数
製造業	33
卸売業	50
小売業	27
サービス業	41
建設業	29
不動産業	36
業種計	216

判断表 業種別定点指標値(マークの基準は業況判断D.I季節調整済修正値で判断)

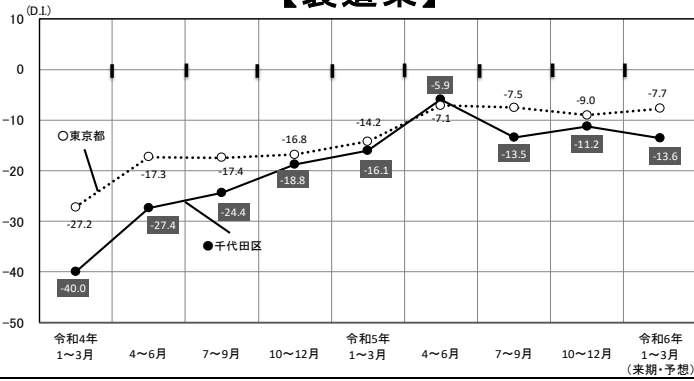
	A	B	C	D	E	F	G
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
卸売業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
不動産業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下



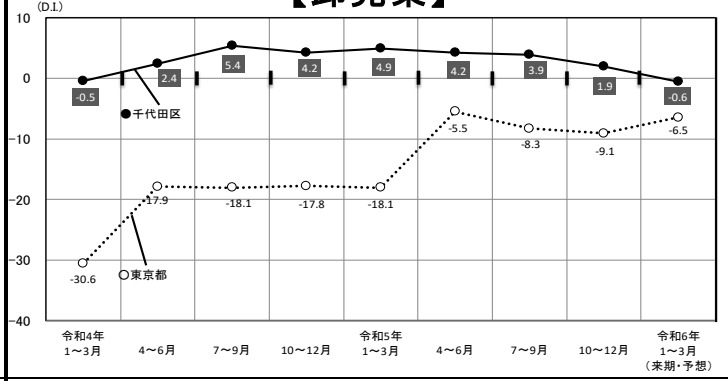
製造業	今期		E -11.2	業況は厳しさがやや和らぎ、改善した。売上額は減少幅が大きく拡大し、収益は減少がやや強まり、ともに悪化した。価格面では、販売価格は前期並となり、原材料価格は上昇がやや強まった。在庫は過剰感がやや改善した。
	来期		E -13.6	来期の見通しについて、業況は低調感がやや強まると予想されている。売上額は減少幅が大きく縮小し、収益は今期同様の減少で推移する見通しである。
卸売業	今期		C 1.9	業況は好調感がやや後退し、悪化した。売上額は前期並となった。収益は増加に転じ、改善した。価格面では、販売価格は上昇がやや強まり、仕入価格は上昇がやや弱まった。在庫は前期並となった。
	来期		D -0.6	来期の見通しについて、業況は悪化に転じると予想されている。売上額は増加幅が大きく縮小し、収益は今期同様に推移する見通しである。
小売業	今期		D -19.1	業況は前期並となった。売上額、収益はともに減少がやや強まり、悪化した。価格面では、販売価格は上昇が大きく弱まり、仕入価格は上昇がやや強まった。在庫は前期並となった。
	来期		D -18.0	来期の見通しについて、業況は今期同様に推移すると予想されている。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は減少が大きく弱まる見通しである。
サービス業	今期		D -11.6	業況は悪化に転じた。売上額、収益はともに増加から減少に転じ、悪化した。価格面では、料金価格、材料価格はともに上昇が大きく弱まった。
	来期		C 2.9	来期の見通しについて、業況は好転すると予想されている。売上額は増加に転じ、収益は減少が大きく弱まる見通しである。
建設業	今期		B 18.2	業況は好調感が極端に後退し、悪化した。売上額、収益はともに増加幅が極端に縮小し、悪化した。価格面では、請負価格は前期並となり、材料価格は上昇がやや強まった。在庫は過剰に転じた。
	来期		B 14.1	来期の見通しについて、業況は好調感がやや後退すると予想されている。売上額は増加幅が極端に拡大し、収益は増加傾向を大きく強める見通しである。
不動産業	今期		A 10.9	業況は好調感が大きく後退し、悪化した。売上額、収益はともに増加幅が極端に縮小し、悪化した。価格面では、販売価格は上昇が極端に弱まり、仕入価格は上昇がやや強まった。在庫は不足感が極端に改善した。
	来期		C -10.3	来期の見通しについて、業況は悪化に転じると予想されている。売上額は増加から減少に転じ、収益は減少が大きく強まる見通しである。

千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測

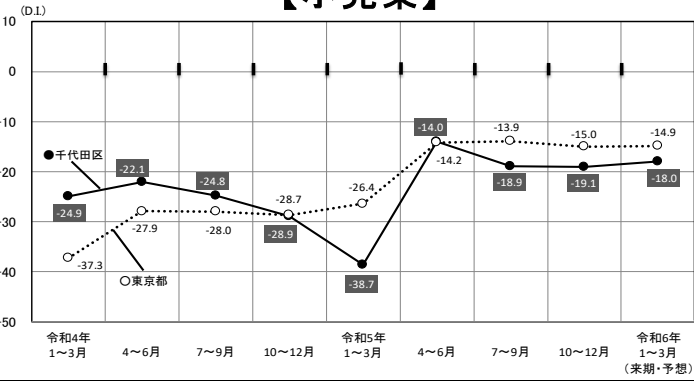
【製造業】



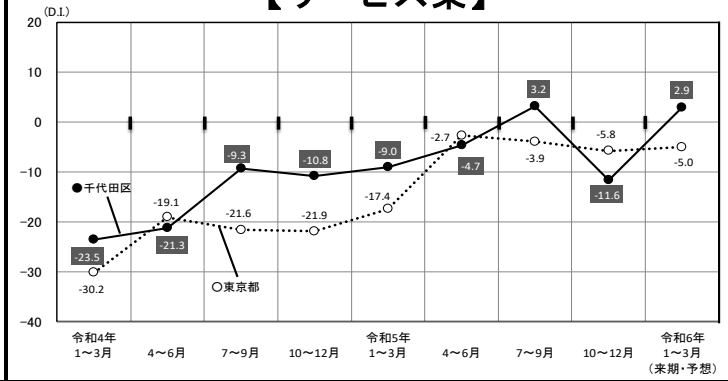
【卸売業】



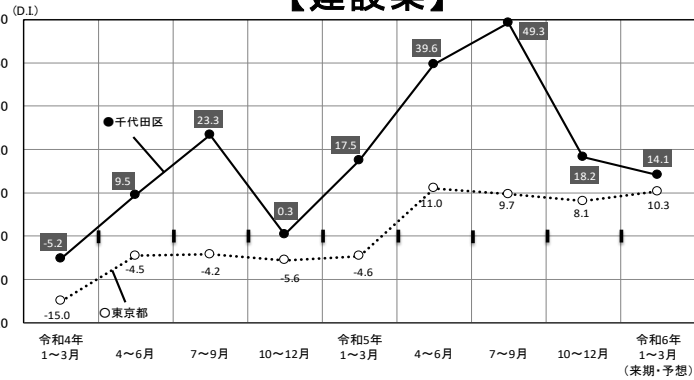
【小売業】



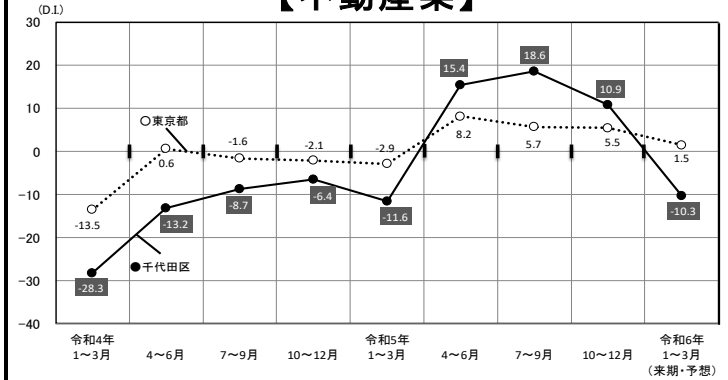
【サービス業】



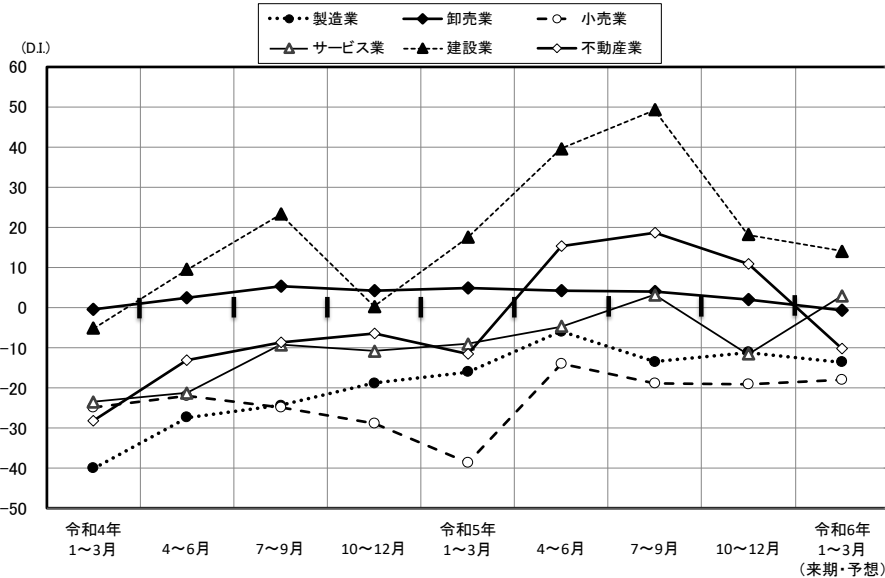
【建設業】



【不動産業】



【千代田区全業種】



千代田区 業種別 経営上の問題点

製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
売上の停滞・減少	45.5 %	売上の停滞・減少	50.0 %	売上の停滞・減少	33.3 %	売上の停滞・減少	39.0 %	人手不足	37.9 %	商品物件の高騰	38.9 %
原材料高	24.2 %	同業者間の競争の激化	26.0 %	同業者間の競争の激化	29.6 %	人手不足	34.1 %	材料価格の上昇	34.5 %	売上の停滞・減少	22.2 %
利幅の縮小	15.2 %	為替レートの変動	20.0 %	仕入先からの値上げ要請	22.2 %	人件費の増加	22.0 %	人件費の増加	17.2 %	商品物件の不足	19.4 %
仕入先からの値上げ要請	12.1 %	利幅の縮小		大型店との競争の激化	18.5 %	同業者間の競争の激化		同業者間の競争の激化		同業者間の競争の激化	
同業者間の競争の激化		仕入先からの値上げ要請	16.0 %	人手不足	14.8 %	取引先の減少	4.9 %	売上の停滞・減少		大手企業との競争の激化	16.7 %
						大企業との競争の激化					
						利幅の縮小					
						材料価格の上昇					
						人件費以外の経費の増加					
						技術力の不足					

千代田区 業種別 重点経営施策

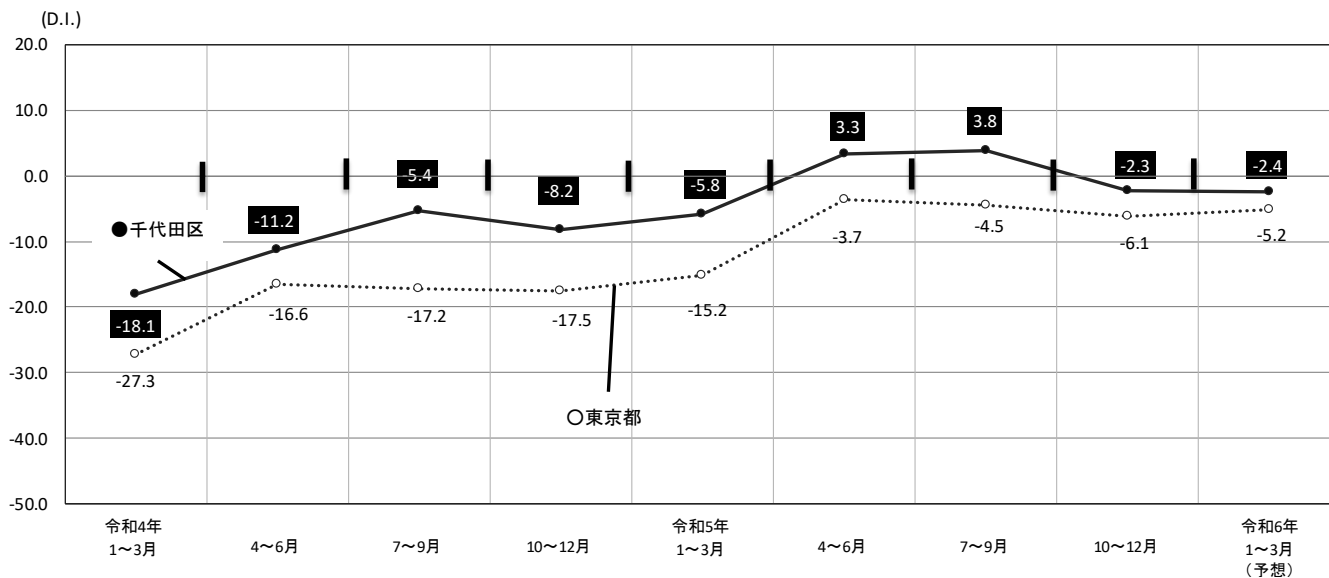
製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
販路を広げる	60.6 %	販路を広げる	58.0 %	経費を節減する	33.3 %	販路を広げる	53.7 %	経費を節減する	41.4 %	販路を広げる	52.8 %
経費を節減する	51.5 %	経費を節減する	50.0 %	宣伝・広告を強化する	29.6 %	人材を確保する	34.1 %	人材を確保する	37.9 %	経費を節減する	41.7 %
情報力を強化する	12.1 %	提携先を見つける	20.0 %	品揃えを改善する	25.9 %	経費を節減する		販路を広げる	34.5 %	情報力を強化する	27.8 %
不動産の有効活用を図る	6.1 %	人材を確保する	14.0 %	人材を確保する	18.5 %	教育訓練を強化する	12.2 %	情報力を強化する	20.7 %	宣伝・広告を強化する	19.4 %
提携先を見つける		情報力を強化する		新しい事業を始める	11.1 %	技術力を強化する		技術力を高める	17.2 %	人材を確保する	8.3 %
新製品・技術を開発する										提携先を見つける	

千代田区と東京都の業況の動き

千代田区の今期の業況判断 D.I. (季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合) は-2.3 と前期 (令和 5 年 7～9 月) の 3.8 に比べ 6.1 ポイント減少し、悪化に転じた。

東京都の業況と比較すると、今期は千代田区が東京都を 3.8 ポイント上回った。業種別で比較すると、卸売業 (11.0 ポイント) と建設業 (10.1 ポイント) の 2 業種で、千代田区が東京都を 10 ポイント以上上回った。一方、サービス業 (-5.8 ポイント) で、千代田区が東京都を 5 ポイント以上下回った。

千代田区の来期 (令和 6 年 1～3 月) の業況見通しは-2.4 と、今期よりも 0.1 ポイント減少し、今期同様で推移すると予想されている。東京都の来期の業況見通しは-5.2 であり、比較すると千代田区が 2.8 ポイント上回り、差は今期に比べ小さくなる見込みである。

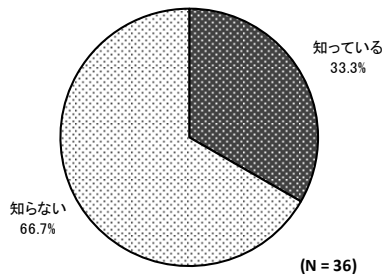


千代田区独自調査「仕事と家庭の両立支援制度の利用状況について」

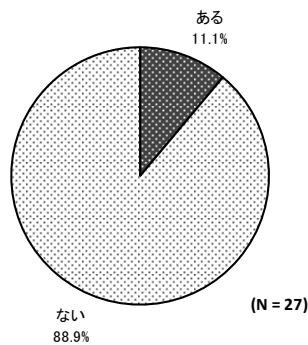
東京商工会議所千代田支部において、千代田区内の企業に対し、「仕事と家庭の両立支援制度の利用状況」に関するアンケートを実施し、36社より回答を得た。調査結果の概要（一部抜粋）は以下の通り。

概要	①「千代田区中小企業仕事と家庭の両立支援制度」による奨励金・助成金の認知度	「知っている」33.3%、「知らない」66.7%
	②奨励金・助成金申請の有無	「ある」11.1%、「ない」88.9%
	③申請したことがある奨励金・助成金	「制度導入奨励金」「配偶者出産休暇・育児目的休暇奨励金」が各66.7%

図表1 「千代田区中小企業仕事と家庭の両立支援制度」による奨励金・助成金の認知度



図表2 奨励金・助成金申請の有無



図表3 申請したことがある奨励金・助成金の種類

